

「機能する口に整える」



山下 政代

我が国は超高齢社会にすでに突入している。そのため、高齢期歯科保健も 8020 運動に代表される「歯数維持」に加え、「口腔の機能低下予防」を主眼とした内容となった。平成 26(2014)年からは 75 歳以上を対象とした後期高齢者医療歯科健康診査（歯周病を起因とする細菌性心内膜炎・動脈硬化症等の悪化，口腔機能低下による嚥下性肺炎等を予防するための歯科健診）が実施されている。高齢者に対する公的な口腔保健活動が広がる中，オーラルフレイルの概念が提唱され，平成 30(2018)年には口腔機能低下症が歯科医療保険に新規記載された。これにより，口腔機能低下予防の取り組みが進んでいる。口腔機能を回復するために不可欠な義歯を必要とする患者は様々な年代や状態にあり，オーラルフレイルから口腔機能低下症，そして口腔機能障害までそれぞれの口腔機能に応じた歯科的アプローチが必要とされる。歯科衛生士として機能する口に整えるためにおこなっている取り組みについて紹介したい。

【略歴】

1975 年 大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 卒業

2002 年 日本福祉大学 経営学部 医療・福祉マネジメント学科 卒業

歯科衛生士資格取得後，歯科臨床に携わるかたわら，健康教室・介護予防教室・健康展など地域歯科保健活動，病院・施設の口腔健康管理や機能療法に出務，また，歯科衛生士養成校において後進育成・病院・施設・企業の職員研修等で講師を務める。その他 2005 年から 10 年間居宅介護支援センターでケアマネージャーとして勤務の経験がある。

【所属・勤務先】

公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 訪問口腔健康管理アドバイザー

三好歯科医院

豊中市在宅歯科ケアステーション コーディネーター

【所属学会】

日本歯科衛生士学会

日本歯科医療管理学会

日本老年歯科学会

【認定資格】

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士 認定分野 在宅療養指導・口腔機能

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士 認定分野 摂食嚥下リハビリテーション

日本歯科衛生士会認定歯科衛生士 認定分野 研修指導者・臨床実施指導者